

●肺がんサロンレモンタイム | Lemon Time



近辺にも、「がんサロン」はありますが、肺がんの治療をしているのは有明地区では当院がメインでもあり、ケモカンファレンスチームの中で、「肺がんの患者さんや家族の方の憩いの場、安らぎの場の提供をしたい＝肺がんサロンを開設したい」と提案があり、昨年11月より肺がんサロン「レモンタイム」を開催しました。

サロンの開催コンセプトとして季節感も感じていただけたら・・・と、3月はお花見、7月は七夕、第4回9月26日にはお月見をイメージして開催し、21名の参加がありました。

今回は薬剤師より「お薬について」の講習と、お団子を食べながらの懇親会を行いました。中にはメモを取られたり、写真にて記録を残されたり真剣に聞かれておられました。懇親会では受診時に見ることの無い明るい表情と和やかな雰囲気、主治医も驚くような素敵な表情をされていました。

アンケートには「よい1日でした。」「皆さんのお話を聞かせて頂いて、元気が出ました。」「何かの為になるかと思って参加している。」「一人じゃないんだと思いました。」「悩んだけど参加して良かった。」「おもてなしの心を感じました。」「ありがとう」等意見を頂きました。

このような意見を励みに今後も「安らぎの場、憩いの場の提供」を目指していきたいと思います。次回第5回は12月19日に「クリスマス会」の予定です。

なお、肺がんサロンは当院に通院している患者さんを対象としています。



※写真はスタッフ集合です

編集 後記

11月は紅葉の季節ですね。大牟田市周辺には紅葉の名所も多くあります。樹齢400年以上といわれる臥龍梅は高台にあり大牟田市街地が見渡すことができ、眺めが良い場所にあります。その「普光寺」へ向かう参道は紅葉の名所として生まれ、境内には県指定文化財の木像や石塔群が数多くあるそうです。

さて朝晩の冷え込みも増し、空気が乾燥してくる気候となりました。注意したいのが、風邪やインフルエンザなどのウイルス感染ですね。なるべく人ごみを避けマスク等着用し感染ルートを遮断するのが第一と言われています。



●予防のためには、

① 手洗い、うがいをこまめに行いましょう。



② 適度な運動やバランスのよい食事を取り、抵抗力を養う体づくりを心がけましょう。



③ 睡眠を十分とり、疲れをとりましょう。



年末に向け一段とお忙しい日々ですが、日ごろの生活習慣を見直してみはいかがでしょうか？

□交通アクセス

- JR鹿児島本線大牟田駅下車・・・徒歩20分
- 西鉄天神大牟田線大牟田駅下車・・・徒歩20分
- 九州自動車道南関ICより自動車・・・25分



□診療受付時間

月曜～金曜日 / 8:30～11:30 (診療開始 8:45～)
 13:00～16:30 (診療開始 14:00～)
 土曜日 / 8:30～11:00 (診療開始 8:45～)

□休診日

日曜日、祝祭日、年末年始 (12 / 30～1 / 3)

□面会時間

平日・土日祝祭日 10時～20時まで



当院に対してご希望や意見がございましたら職員にお気軽にお申し付けください。また、ご意見箱も是非ご利用ください。

一般財団法人 福岡県社会保険医療協会
社会保険 大牟田天領病院

〒836-8566 福岡県大牟田市天領町1丁目100番地
TEL 0944-54-8482 FAX 0944-52-2351
電子メール: somu@omutatenryo-hp.jp ホームページ: http://omutatenryo-hp.jp/

天領医療連携だより

Ohmuta Tenryo Hospital 2015.11



■医療理念

- 一、患者中心の医療
- 二、医療の質の向上
- 三、地域社会にあった手づくりの医療
- 四、安心と信頼を持たれる病院づくり

■基本方針

- 一、地域の病院、診療所および介護施設と連携し、急性期医療を担当する中核病院として地域医療に貢献する。
- 二、患者さんに安心とくつろぎを与える医療と介護を提供する。
- 三、医療水準向上のため職員の教育および臨床研修を充実する。
- 四、経営基盤を安定させる。

●懇親会開催について | News

第7回 社会保険大牟田天領病院地域医療連携懇親会開催

平成27年10月15日(木)にホテルニューガイアオームタガーデンにて第7回社会保険大牟田天領病院地域医療連携懇親会を開催しました。今回は、大牟田市や荒尾市をはじめ有明地域の医療機関等から約250名の方々にご出席頂きました。まず、杉本肇晴病院長の挨拶にはじまり、大牟田医師会副会長の安藤謙治先生、荒尾市医師会々長の藤瀬隆司先生にご挨拶を頂きました。その後、当院の診療科医師紹介や「当院における原発性肺癌に対する外科的切除の現状」と題した講演があり、大牟田市医師会理事の上村正行先生の乾杯で開宴となりました。開宴の途中では、8題のポスターセッションもあり、最後は松山公士副院長の挨拶、荒尾市医師会副会長の田宮一郎先生の万歳三唱等で中締めとなりました。

このような形式での開催は、今回が7回目となります。毎年多くの方々にご出席頂いております。これからも更なる地域連携を深めたいと考えております。今後共、よろしくお願い申し上げます。



新任医師の紹介 | News



やまくち むねたか
循環器科 山口 宗孝
専門領域 循環器科一般
専門医等
 日本内科学会認定医、
 日本循環器学会専門医

10月より常勤で勤務しております。出身は佐賀で、卒業後は福岡で診療しておりました。循環器を専門としておりましたが、ここ2年ほどは救急医療や僻地離島医療、消化器内科、在宅医療など、幅広く診療しておりました。このたび縁があり循環器医として大牟田へ赴任しました。循環器診療だけでなく、これまでの経験を還元し、少しでもお役に立ちたいと思っております。まだ不慣れな中、手探りの状況ですがよろしくお願いいたします。



みぞかみ ゆうこ
循環器科 溝上 裕子
専門領域 呼吸器内科一般
専門医等
 日本内科学会認定医、
 日本呼吸器学会、
 日本呼吸器内視鏡学会

10月よりこちらに異動してきました、呼吸器内科の溝上と申します。前任地は熊本県水俣市で、大牟田周辺は初めてとなります。不慣れなことも多いとは思いますが、患者様のため力を尽くせるように頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

新任事務長挨拶 | News



岡 崇 (おかたかし)

ご縁がございまして、10月よりお世話になります事務長の岡と申します。
 前身の三井大牟田病院時代含め創立以来100年以上の歴史を有する当院の一員として勤務できることを嬉しく思うと同時に身の引き締まる思いです。
 これまで当地域での当院の役割と使命を果たすべく、地域の医療機関様や介護施設様と医療連携を推進させていただきました。今後も積極的に当院の医療情報を発信させていただきながら、地域病院としてさらに地域の皆様を選んでいただける病院となり、地域医療に貢献していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

学会発表・講演など

呼吸器外科の紹介講演

[平成27年10月15日、第7回 地域医療連携懇親会にて]

講演：「当院における原発性肺癌に対する外科的切除の現況」

社会保険大牟田天領病院 呼吸器外科 丸山理一郎

社会保険大牟田天領病院に赴任して4年目を迎えました。呼吸器外科としては気胸・縦隔腫瘍・胸部疾患等を対象としていますが、今回は原発性肺癌に対する外科的切除の現況についての講演でした。

原発性肺癌の約9割の方は、直視下と胸腔鏡併用の手術を施行され、傷は7~8センチで、縦隔リンパ節転移を認める症例や末梢の腫瘍の大きなものであっても肺が虚脱できれば、適応となります。

これまで完全切除症例で80例以上の実績があり、患者背景としては女性が46例、男性が36例で、年齢の中央値は69歳、下は41歳、上は86歳と幅広い年齢の方を対象としています。組織型は最も多い肺腺癌で59例、扁平上皮癌が16例、大細胞癌や腺扁平上皮癌など、稀な症例も7例ありました。病理病期はⅠA~ⅢAまで幅広い症例を対象としています。

手術概要は、手術時間が2時間48分、出血量は50gで、100g以上になることはありません。胸腔ドレーン留置日数は3日、術後在院日数は12日で、ドレーンが抜去できれば退院可能となります。患者さんの中には、「仕事が休めない」と、手術の翌週には退院して即、仕事復帰した方もいらっしゃいました。重篤な術後合併症ですが、遷延性肺膿瘍、肺血栓塞栓症、脳梗塞、上腸管膜動脈閉塞症が1例ずつありました。当院には呼吸器内科、神経内科、循環器科、外科、透析センターがあり、幅広い合併症に迅速な対応が可能で、術死、在院死はゼロでした。

無再発生存期間は、ⅢA期(縦隔リンパ節転移)では下がりますが、ⅢA期より早期の方はすべてご存命です。再発・転移時の一次治療の薬剤選択に役立つため、腫瘍摘出後の標本をすぐにEGFRやALKの遺伝子検査へ出しています。

これまでに「EBMの手法による肺癌診療ガイドライン」の作成や非小細胞肺癌の術後補助化学療法のガイドライン作成にも携わってきましたが、これらに基づき、実地臨床を行っています。

熊本大学・鹿児島大学と提携し、2つの術後補助化学療法に関する臨床試験も行っています。「ⅠB期非小細胞肺癌完全切除症例に対するnab-Paclitaxel/Carboplatin併用療法のfeasibility study」と、「StageⅡ-ⅢA非小細胞肺癌完全切除症例に対するCDDP/TS-1 followed by TS-1隔日投与方法のfeasibility study」です。平成27年9月24日現在、対象医療機関の中では、前者は15例中8例、後者は20例中9例を社会保険大牟田天領病院で行っており、いずれの試験におきましても最も多い登録数となっています。

がん薬物療法の専門医を育成する日本臨床腫瘍学会の指導医認定者は、熊本県に僅かに6名、福岡県でも27名にすぎず、私はその一人で、がんセンターや大学病院に行かなくても、ここ大牟田の地で同等の肺癌の治療が可能であるということでした。



患者背景	
患者数	69名 (41~86歳)
年齢	中央値 69歳
性別	女性 46名
	男性 36名
組織型	肺腺癌 59名
	EGFR陽性 30名
	EGFR陰性 29名
	大細胞癌 7名
病理病期	ⅠA 16名
	ⅠB 7名
	ⅡA 24名
	ⅡB 7名
	ⅢA 4名
	ⅢB 1名
	Ⅳ 1名

手術概要	
手術時間	2時間48分
出血量	50g
胸腔ドレーン留置日数	3日
術後在院日数	12日
術後合併症	遷延性肺膿瘍: 1例
	肺血栓塞栓症: 1例
	脳梗塞: 1例
	上腸管膜動脈閉塞症: 1例



◎ハラスメント研修を開催

ここ数年でセクハラ、パワハラだけでなく、モラハラ、マタハラなど、職場での様々なハラスメント問題をニュースでよく耳にするようになりました。それを受けて、9月15日に当院で弁護士の方を迎え、ハラスメント研修を行いました。

今回の研修ではパワハラの原因、問題点から始まり、実際に起こった場合にはどのように対処すべきなのか、また予防するためには何が重要なのかを、具体的なチェックリストを使いながら考えていくことで、職場環境を整えることへの意識を高めることが出来ました。

職員のメンタルケアが充実し、職場環境を整備することで、今まで以上に職員が生き生きと働く病院へと成長し、より質の高い医療を患者様に提供していきたいと考えています。



◎第13回社会保険大牟田天領病院院内学術集会について

日時：平成27年11月28日 田 13:30~17:00

場所：福祉センター2階 多目的ホール

内容：一般演題発表 13題 特別講演「がん免疫療法について」

国立研究開発法人 国立がん研究センター
先端医療開発センター 免疫療法開発分野 分野長 中面哲也 先生

☆ご興味のある方は、地域医療連携室までお尋ねください。



※写真は第12回のものです。

◎各教室の紹介 | Information

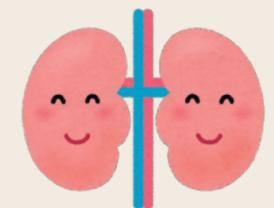
天領じんぞう病教室開催

◎日時：平成27年10月16日(金)

平成27年10月16日(金)に第14回腎臓病教室を開催しました。1日を通してスケジュールは、腎臓病に関する内容を盛りだくさんで多職種による講義でした。

腎臓内科の今西医師の講義に始まり、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、管理栄養士の講義をみなさん熱心に受けていらっしゃいました。昼食時には管理栄養士により立案された腎臓病食の提供を行っており、毎回カロリーアップの方法や減塩の工夫を凝らしています。また、季節感も取り入れた食事は大変喜んで頂けました。

講義内容に加えて、患者さん同士の情報交換の場となっていることも天領じんぞう教室の魅力の1つだと思います。今後も喜んで頂ける天領じんぞう教室をスタッフみんなで企画していきたいと思っています。



お問い合わせ等は、地域医療連携室にご連絡ください。